

見ニタル所ノ記載也九月於薩那長刀代表者ト  
会見ニタル譲說一斯ノ子前說所曰錄三部通井  
義一部也該會立助、云名代表者入之于平室、  
机ノ二時市草社へ翻訳大秀以二空勤ニ年後  
四時ニ松方社長ト会見ニ大記疎訖書控出シ  
鶴龍ニタル全社名ノ即座ニ拒绝シテ九之代表  
若等ハ不正得今因解雇ニ付スル事情並ニ会社  
場ニ歸工一同ニ荒表セレタシト諸ヒ会社長  
ハレニ滿殊ナシヘ約此分ニテ退去セリ  
福寺亭一集会セル職ニ著ハ代表若会見、結果  
ヲ津ナ居ナリ年後四時寄席、都会上附近、  
徳澤亭ニ引移、会時場他部職ニ終事退場ニ際

シ別記騰宇仰副御子貢布一約五万枚)シタル  
カ其間若干年換押ナリ引鏡ナシ意中

大

記

嘆

歌

書

(草文寫)

一、今四葉表成シタル解雇手筋ノ一ノ前職期初  
, 錐持費トニテ到西支ツルコト能ハ、依テ  
何卒日給高ノ月分ナリ給サレタシ  
一、慰勞金八萬統一ノ月毎ニ口給五〇分ヲ支給  
サレタシ  
一、今後事業經營シ枝工器用、器具入今開解雇  
サレタシ及リノ優先權ヲ與ツルコト